

社会に向けた発信活動に参加して

日本リスクマネージャネットワーク(JRMN)
代表理事 宮崎隆介

1. 日本リスクマネージャネットワーク(JRMN)の成り立ち

私たち日本リスクマネージャネットワーク(JRMN)は、大阪大学「環境リスク管理のための人材養成」プログラム(日本リスク研究学会認定、文部科学省科学技術振興調整費 新興分野人材養成高度環境管理プログラムとして採択され、大阪大学大学院工学研究科〈環境・エネルギー工学専攻〉が運営し、2003年10月～2011年3月実施)の所定の単位を修了し、日本リスク研究学会に「リスクマネージャ」として認定、登録された者のうち社会人特別受講生出身者の有志によって「社会の要請に応じてリスクマネジメントの普及に取り組み、リスク事象に関する調査研究を行うとともにリスクマネージャとしての資質を磨き、社会の安全、安心の向上に資することを目的」(定款第3条)として設立した集まりです。

現在会員数は41名で、博士、技術士、公認会計士、弁護士、環境計量士、エネルギー管理士、ISO審査員、環境カウンセラー、公害防止管理者、薬剤師 など多彩な資格を持った会員がそろい、異業種交流の性格も持った集まりになっています。

具体的な活動として会員自身の資質向上のための取り組み(リスクマネージャとしての継続教育〈CPD〉)を基礎に、市民、学生を対象にリスクというものの見方、考え方(リスクセンス、リスクリテラシー)を普及することおよび企業、会社員を対象にしたリスクマネジメントの研修やコンサルティングなどの支援事業を両輪として行うことを目指しています。

2. 知の市場協議会への参加

JRMNを設立して間もないころ、会員同士がセミナー等の情報を交換し合って、知的向上を目指して切磋琢磨をめざしていました。その頃(2009年春)一会員が東京での知の市場の関連講座(CERI(財団法人化学物質評価研究機構)の明治大学への寄付講座「新領域創造特論2 安全学入門」(北野大先生がコーディネーター)を紹介し、大阪からの遠方参加になりますが、カリキュラムが魅力的だったので3名の会員が参加しました。私たちが知の市場協議会に参加したのは、その講座に参加した当会の会員が、講師であった知の市場議長の増田教授の社会に向けて知的教養を発信する伝道師的情熱に触れ、その活動に参加しようと会に呼び掛けたことに端を発します。多くの会員がその呼びかけに共鳴し、当会の設立趣旨と定款に定める「目的と事業」に合致するものとして、大阪での知の市場の活動を「リスクマネジメントの普及」という会の目的に沿うアウトリーチ活動に位置づけて取り組むことになりました。

知の市場で開かれている多くの講座が専門的なものであり、私たちの手に余るように感じ、また準備期間もなかったのですが、やる気さえあればできると増田教授に励まされ、自分たちの職業人としての経験と知識を活用する方向で頑張ることができました。

私たちの会自身で主宰する講座(環境基礎論)を用意しているとき、過去東京において開講されていた大阪在住講師主体で運営される講座を紹介され、それらの運営もあわせて行うこととし、NITEにつづく大阪での知の市場の開講機関として活動を始めることができました。その実績は次の通りです。

環境基礎論科目構成

科目構成	No.	講義名
地球と環境	1	環境問題の歴史
	2	宇宙船地球号(1)
	3	宇宙船地球号(2)
公害と環境	4	水質汚濁問題
	5	土壌汚染問題
	6	大気汚染問題
	7	廃棄物処理問題
地球温暖化	8	地球温暖化(1)
	9	地球温暖化(2)
化学物質と食	10	化学物質のリスク管理
	11	食の安全・安心
社会の動き	12	最新の環境技術・環境ビジネスの紹介
	13	環境法の動き
	14	企業の社会的責任(CSR)
まとめ	15	持続可能な社会(循環型社会/低炭素社会)を目指して

2010年度「知の市場」活動実績

科目名	応募者	受講者	開講スケジュール	平均出席率	修了者	修了率
化学物質総合評価1 (JK111)	14	14	2010/4/6～ 2010/7/20 毎週火曜日(18:30 ～20:30)	79%	9	64%
防疫薬総合管理 (JK131b)	15	15	2010/9/27～ 2011/1/24 毎週月曜日(18:30 ～20:30)	88%	13	87%
環境基礎論(JK454)	11	11	2010/10/5～ 2011/2/1 毎週火曜日(18:30 ～20:30)	94%	9	82%

2011 年度「知の市場」活動実績

科目名	応募者	受講者	開講スケジュール	平均出席率	修了者	修了率
化学物質総合評価1 (JK111)	7	7	2011/4/5～ 2011/7/19 毎週火曜日(18:30～ 20:30)	82%	4	57%
防疫薬総合管理 (JK131b)	12	12	2011/10/3～ 2012/1/30 毎週月曜日(18:30～ 20:30)	84%	8	67%
環境基礎論(JK454)	8	8	2011/10/4～ 2012/1/24 毎週火曜日(18:30～ 20:30)	66%	4	50%

2012 年度「知の市場」活動実績

科目名	応募者	受講者	開講スケジュール	平均出席率	修了者	修了率
防疫薬総合管理 (JK131b)	17	17	2012/9/10～ 2013/1/21 毎週月曜日(18:15～ 20:15)	46%	4	24%
環境基礎論(JK454)	15	15	2012/10/2～ 2013/1/22 毎週火曜日(18:15～ 20:15)	49%	6	40%

2013 年度「知の市場」活動実績

科目名	応募者	受講者	開講スケジュール	平均出席率	修了者	修了率
防疫薬総合管理 (JK131b)	25	23	2013/8/26～ 2014/1/20 毎週月曜日(18:15～ 20:15)	66%	14	61%
環境基礎論(JK454)	16	15	2013/10/1～ 2014/1/14 毎週火曜日(18:15～ 20:15)	69%	8	53%

2014 年度「知の市場」活動実績

科目名	応募者	受講者	開講スケジュール	平均出席率	修了者	修了率
防疫薬総合管理 (JK131b)	20	20	2014/8/25～ 2015/1/219 毎週月曜日 (18:15～20:15)	58%	14	70%
環境基礎論 (JK454)	7	7	2014/9/30 ～ 2015/1/20 毎週火曜日 (18:15～20:15)	77%	2	29%

2015 年度「知の市場」活動実績

科目名	応募者	受講者	開講スケジュール	平均出席率	修了者	修了率
防疫薬総合管理 (JK131b)	18	18	2015/8/24～ 2015/12/21 毎週月曜日 (18:15～20:15)	59%	7	39%
環境基礎論 (JK454)	13	11	2015/9/1 ～ 2015/12/22 毎週火曜日 (18:15～20:15)	76%	7	64%

3. 知の市場開講機関としての課題

JRMN で主宰する「環境基礎論」については、できるだけ多くの会員が講師をするように働きかけ、いままでに 24 人が講師に立ちましたが、最近では固定化が進んできて、新しい講師の開拓が望まれます。また、開講以来 6 年がたち、「環境基礎論」とは別に、リスクマネジメントに軸足を移した新しい講座を開講しようという意見も出てきています。

さらに自分たちで主宰するだけでなく、リスクに関する専門家、研究者の協力を得て講座を組織することも将来課題としてあります。

また昨年初めて環境基礎論の修了者(弁護士)が入会しましたが、今後もっと受講生とのつながりを深め、一緒に活動してもらえるように努力したいと考えています。

4. その他の社会に向けた発信活動

1) 講師派遣実績

* 企業内研修 講師派遣

(リスクに関する一般教育 2008 年 6 月 東京/ISO 基礎研修 2009 年 12 月 大阪)

- * NPO法人主催シニアセミナー 講師派遣(テーマ:企業活動と環境リスク 2008年6月 東京)
- * 企業団体—REACH解説研修 講師派遣(2008年7月 京都)
- * エコ検定受験対策講座(尼崎商工会議所) 講師派遣(2008年～ 2011年)
- * 大学社会人講座へ講師派遣(2011年6月 静岡大学大学院)

2) セミナー開催

JRMN 会員のつながりでおおさか ATC グリーンエコプラザビジネス交流会 水・土壌汚染研究部会に参加し、年1回、リスクセミナーを行っています。(2013年～)

3) 自己啓発活動

定例の会員集会へ外部講師を招き、講演会を開催したり、特別にセミナーを開催しています。日本リスク研究学会と連携し、場合によっては知の市場の講座も活用し、リスクマネージャとしての継続教育の充実を図っていきたいと考えています。

【外部講師による講演会】

- ・「危機管理広報の問題点」～攻める側、守る側から見た広報のつぼ～
講師:木田洋一氏(毎日放送 人事局長(当時))
- ・「実務におけるリスクマネジメントの活用」
—異文化対応を通したリスクアセスメント能力の深耕—
講師:坂井剛太郎《株式会社朝日興産(竹中工務店グループ) 取締役社長(当時)》
- ・原子力災害を考える
講師:杉浦 紳之(すぎうら のぶゆき)近畿大学原子力研究所教授
(医学博士・専門分野:放射線防護/政府原子力災害現地対策本部 放射線アドバイザー(当時))
- ・「トランジション・マネジメント～ダミングダウンをこえて～」
講師:井上健雄(NPO 法人イー・ビーイング 理事長)
- ・「放射能汚染」の現状と今後のあり方、「除染」についての現況
講師:竹本菊郎(住友電気工業 OB) / 西嶋茂宏教授(大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻)
- ・「日本は特殊な国? 私は日本は好きだけれども日本人にはならない」
講師:松尾カニタ(関西インターメディア(株) / FM CO・CO・LO DJ / Website Producer タイ国バンコク市生まれ 女性)
- ・「放射線の生体影響の仕組みを理解する—放射線生物学の視点から」
講師:渡邊正己(京都大学・名誉教授、京都大学放射線生物研究センター・特任教授、公益財団法人 ひと・健康・未来研究財団・副理事長)
- ・「安全のためのリスク評価入門:大震災後の社会を生きる知恵 ～化学物質から自然災害まで～」
講師:岸本充生(東京大学公共政策大学院)

4) リスク教育の取り組み

リスクマネージャとして登録している日本リスク研究学会のタスクグループに参加し、リスク教育グループに所属してカリキュラム(教材)の開発に取り組み始めました。直近のイベントで、高校生へのリスク教育の初めての試みとして、「サイエンスフェア in 兵庫」(第8回、2016年1月、神戸市で開催)に参加し、パネル展示(リスクを学ぼう!)を行いました。2時間ほどの時間に60数名の理数系の高校生とリスクについて対話し、今現在自分にとってのリスクを書いてもらったり、提示した3つのリスク事象を危険な順に並べてもらうなど考え、手を動かすことで理解を深めるよう意図した。今後学校への出前講座も含めて、こうしたリスク教育の取り組みをもっと広げたいと考えています。

